

デジタル技術がもたらすヘルスケア革命

テック&フィンストラテジー株式会社 代表取締役 小南 欽一郎



実学習時間

4h

難易度

★★

受講料

¥11,000

税込

学習目標と狙い

デジタル創薬・診断法・ヘルスケアサービスに関して、最新バイオテクノロジーについての理解を深める。

学習プログラム

PDU

4

- 第1回 計算科学を活用した新しい創薬 (1)
- 第2回 計算科学を活用した新しい創薬 (2)
- 第3回 計算科学を活用した新しい診断法開発
- 第4回 デジタル時代のヘルスケアサービス

【概要】

医療業界においても、デジタル技術を活用した新たなバイオベンチャーがうまれています。たとえば創薬であれば、計算科学を活用した創薬の手法がうまれています。計算科学を用いた手法とは、酵素や核酸等をコンピューター上で再現し、病気の根源となるターゲットタンパク質の異常な働きを抑制/活性化する化合物を探しあてるシミュレーション技術のことをいいます。人間の力では到底できないような複雑な実験もコンピューター上なら可能です。タンパク質・核酸の動的運動を見ながら分子設計ができるのが、従来のウェット（装置や薬品を用いた従来からの実験手法）のアプローチとの最大の違いといえます。

この計算技術を使うことで、新薬の候補化合物が見つかるスピード、確率を大幅にあげることが期待できます。また診断においても、デジタル科学を活用した診断がうまれてきています。その技術や画像のAI処理により、認知症の早期診断等が期待されます。

本講座では、デジタル創薬・診断法・ヘルスケアサービスに関して、ゲストを招いて解説し、最新のバイオテクノロジーの潮流の理解を深めます。



受講期間	講義	理解度テスト	演習	チャメール	修了証	修了アンケート	制作年
6ヶ月	4回(平均60分)	なし	なし	あり	あり	なし	2022



11367